

2016年度事業報告書

2016年4月1日から2017年3月31日まで

特定非営利活動法人自立生活サポートセンター・もやい

1 事業の成果

2016年度の当法人の事業は、計画した全ての事業を実施することができた。
各事業の効率化を進めながら、幅広い生活困窮者のニーズに応え、事業をおこなった。
また、社会教育の講座を開催するなど貧困問題に関して社会的な発信も広く行うことができた。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 支出額(千円) |
|-----------|---|---|--------------------------------|--|--|---------|
| 入居支援事業 | ホームレス状況にある人々など、賃貸住居入居時に必要な連帯保証人を独力で見つけることが困難な人々への連帯保証人引受及び相談。 | 通年 (毎週火曜日11:30～18:00)。 | 法人事務所 | 6名(有給スタッフ2名及び主だったボランティアとして年間を通して従事された方)。 | ホームレス状況にある人々等のうち連帯保証人を独力で見つけるのが困難な人々。年間300世帯引受(新規26世帯、継続274世帯)、入居相談390件。 | 10,311 |
| | 訪問やアンケートハガキによる安否確認。 | 訪問は年間を通して随時行った。アンケートハガキは年4回(6・9・12・3月)。 | 法人事務所及び首都圏各地 | | 確認が必要とされた人。年間延べ約3,760人。 | |
| | 連帯保証人引受にともなうトラブル発生時の家主等との対応を含むアパート入居後のアフターフォロー。 | 随時。 | 法人事務所及び首都圏各地 | | 連帯保証人引受に関して、対応が必要とされた人。年間36名。延べ訪問数44件。 | |
| 生活相談・支援事業 | ホットライン開設による医療・福祉・法律分野等の各種電話相談や面談による生活相談。生活保護申請時等の付き添いサポート。 | ホットライン(毎週火曜日12:00～18:00、毎週金曜日11:00～17:00)、付添サポート(毎週火曜日11:00～18:00)、その他に相談者の状況により随時対応。 | 法人事務所・活動スペース及び主に都内福祉事務所 | 約30名(有給スタッフ3名及び主だったボランティアとして年間を通して従事された方)。 | 電話相談の件数は年間約2,800人。手紙による相談32件。生活相談の件数は年間636件、そのうち生活保護申請の付き添いは年間106世帯。 | 10,073 |
| | 生活困窮時の食料提供、福祉事務所までの交通費などの生活支援金の支給。 | ホットラインや付添サポートと同時に実施するとともに、相談者の状況により随時対応。 | 法人活動スペース | | 当日の食料すら準備不可能な生活困窮者など年間のべ155人。 | |
| 交流事業 | 当事者同士がお互いに社会的孤立を解消するために、「もやい結びの会」を運営。 | 年7回、季節にあわせた行楽などを実施。 | 法人活動スペース及び東京都内各地 | 約20名(有給スタッフ4名、パートタイム従事者6名及び主だったボランティアとして年間を通して従事された方)。 | 各回10～60名。 | 14,047 |
| | 社会的孤立を解消するための企画として、「サロン・ド・カフェ こもれび」・「グリーンネックレス」・「ランタンペアラ こもれび」を開催。 | 「サロン・ド・カフェ こもれび」毎週土曜日11:00～17:00・「グリーンネックレス」第2・3木曜日・「ランタンペアラ こもれび」第2・4日曜日13:00～19:00。 | 法人活動スペース | | 参加者各回5～40名。 | |
| | 共同作業を通じて社会的つながりを回復する企画としてコーヒー焙煎プロジェクトの「こもれびコーヒー」を実施。 | 主に毎週月曜日及び水曜日焙煎及び発送作業。 | 法人活動スペース | | 年間延べ約530名に販売。 | |
| 広報・啓発事業 | ウェブサイト運営しオンラインでの情報発信および紙媒体のニュースレター「おもやい通信」を発行。 | ウェブサイトは年間を通して公開し、おもやい通信は年4回(6・9・12・3月)を発行。 | 法人事務所 | 4名(有給スタッフ2名及び主だったボランティアとして年間を通して従事された方)。 | 貧困や社会問題に興味がある方など不特定多数。ニュースレター約14,500部配布。 | 8,497 |
| | 学校法人や各種メディア等からの取材対応し、生活保護の現状や貧困問題などを伝える「おもやいセミナー」を開催。 | 取材対応などは随時引受、おもやいセミナーは年間24回開催。 | 法人事務所及び主に首都圏各地 | | 不特定多数。おもやいセミナー参加者のうち、アンケート回収143名。 | |
| | 生活保護の現状や貧困問題などを伝える講師養成や勉強会開催のためのノウハウを伝える講座を開催し、レクチャーマニュアル冊子を配布。さらに書籍『先生、貧困ってなんですか?』を刊行。 | 有料講座1回(2日間)と無料講座6回を開催。 | 新宿区および全国6カ所(茨城、愛媛、青森、三重、沖縄、広島) | | 有料講座参加者40名、無料講座参加者310名。マニュアル冊子500部配布。 | |